

○ 近畿産大豆の単収

大豆の単収は、播種時期や収穫時期の降雨による作業の遅れや、生育期間中の低温・日照不足など、天候の影響を受け易く、年次変動が大きい。

近畿産大豆の単収は、110kg～140kg/10aと全国と比べ低位で推移しており、令和4年産の単収は134kg/10a（前年対比114%）となった。

食料・農業・農村基本計画で掲げる生産努力目標（令和12年：34万トン）の達成には、単収の向上が必須となるが、全国的にも単収は伸び悩んでいる状況。近畿は、黒大豆の占める割合が高く、単収が低い傾向にあることを踏まえても、単収向上に向けた取組が大きな課題となっている。

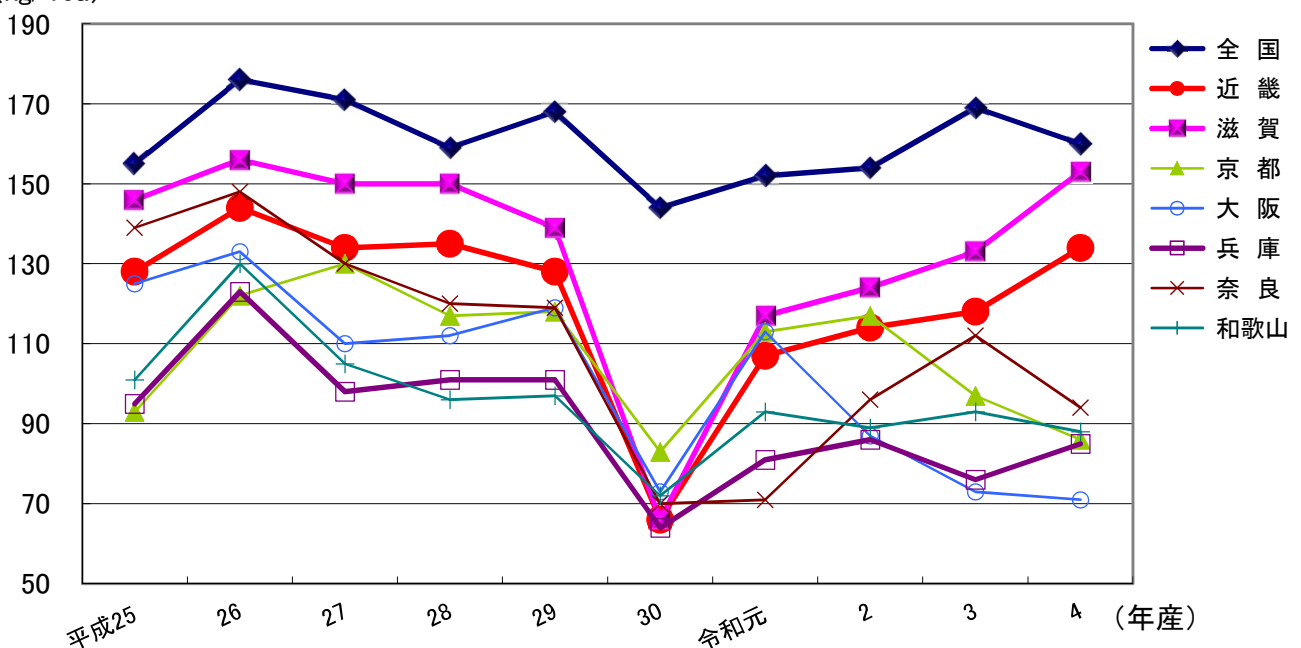
近畿産大豆の単収の推移

(単位:kg/10a)

年産 府県	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
全国	155	176	171	159	168	144	152	154	169	160
近 畿	128	144	134	135	128	66	107	114	118	134
滋 賀	146	156	150	150	139	66	117	124	133	153
京 都	93	122	130	117	118	83	113	117	97	86
大 阪	125	133	110	112	119	73	113	87	73	71
兵 庫	95	123	98	101	101	64	81	86	76	85
奈 良	139	148	130	120	119	70	71	96	112	94
和歌山	101	130	105	96	97	72	93	89	93	88

資料：農林水産省「作物統計」

(kg/10a)



資料：農林水産省「作物統計」